

教職員自主的研究推進事業 実績報告書

研究グループ名【 三算会 】

代 表 者 の所属・ 職・氏名	三木市立 緑が丘小学校	連 絡 先	住所	三木市緑が丘町西 1-10-8
	教諭 牛島 敏雄		T E L	0794-84-0744
			F A X	0794-89-8113
			e-mail アドレス	Me621505@ns.miki.ed.jp

活動実績

研究テーマ

情報の意図的な制限による論理的思考の育成

－「つっこみ問題」と「見えない化」に着目して－

研究の概要

6月 3日（金） 第1回三算会

場所：緑が丘小学校 相談室

内容：「つっこみ問題」「見えない化」の定義についての検討と実践交流の確認

7月29日（金） 第2回三算会

場所：緑が丘小学校 研修室

内容：「つっこみ問題」「見えない化」の実践交流と2学期の実践に向けての共通理解

12月 2日（金） 第3回三算会

場所：緑が丘小学校 研修室

内容：2学期の「つっこみ問題」「見えない化」実践交流と報告書のまとめ検討

2月17日（金） 第4回三算会

場所：緑が丘小学校 研修室

内容：今年度研究の総括と来年度研究の方向性模索

【成果と課題】

本研究は、「算数科の文章問題において、子どもたちが数値とキーワードのみに着目し、安易に演算をしてしまうため、不自然な解答をしても気づかず、見直しもしない」課題からスタートした。

課題を克服するためには、子どもが文章問題の題意をイメージしたり把握したりする必要がある。そのための手法として、「問題情報を意図的に制限する」ことにした。具体的には、情報に誤りを含ませ、子どもに訂正させる「つっこみ問題」、情報を意図的に隠す「見えない化」を実施した。

成果として、情報を意図的に制限することで、子どもたちは「何か変だぞ」「何が隠れているかな」と立ち止まるようになった。意欲的に誤りを訂正したり、隠れている部分を探ったりするようになった。見えている部分を手がかりに、「〇〇だから…」と演繹的な説明もするようになった。

課題として、今年度は授業開発を目的としたが、来年度以降、本当に論理的思考が育成されたか、測定方法について検討する必要がある。